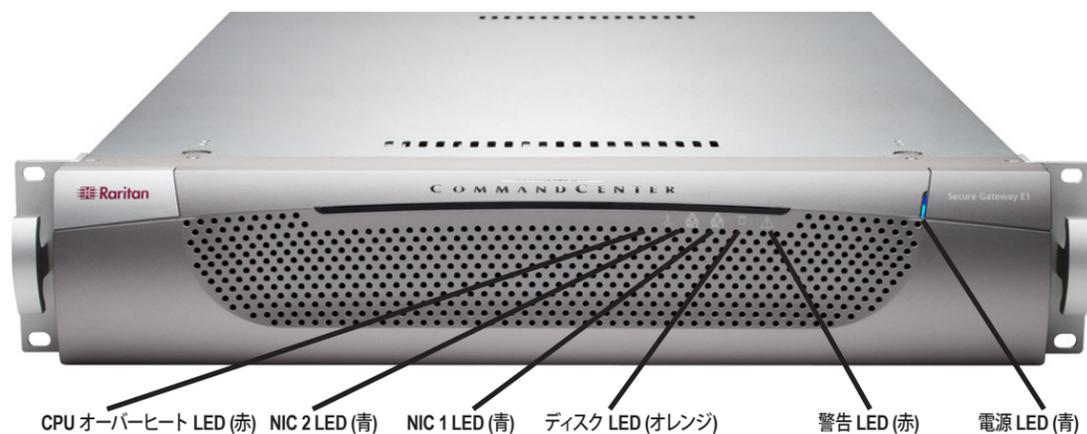


## CommandCenter Secure Gateway の概要

CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) E1 ユニットをお買い上げいただき、ありがとうございます。CC-SG は、IT デバイスのセキュアなアクセスとコントロールを統合する、Raritan の管理ソフトウェア プラットフォームです。このマニュアルでは、CC-SG を最小限の所要時間で設定し、稼働させるための手順を説明します。CC-SG をインストールする前に、CC-SG を使って管理するデバイスを準備しておく必要があります。詳細については、『Raritan デジタル ソリューション デプロイメント ガイド』を参照してください。



### I. CC-SG のパッケージを開く

製品パッケージの内容は、次のとおりです。

- (1) CommandCenter Secure Gateway E1 ユニット
- (1) CommandCenter Secure Gateway E1 フロント ベゼル
- (1) ラック マウント キット
- (2) 電源コード
- (1) CAT 5 ネットワーク ケーブル

- (1) 印刷版『クイック インストール・インストラクションおよびセットアップ ガイド』
- (1) Raritan ユーザ ドキュメンテーション CD-ROM
- (1) ユーザ登録書と保証書

### テクニカル サポート

パッケージに上記の項目がすべて入っていない場合は、米国 Raritan 社 (電話 +1-800-724-8090、北米東部時間 8:00 AM ~ 8:00 PM) または現地の Raritan 事業所までご連絡ください。

### II. ラック マウント CC-SG

CC-SG をラックに取り付ける際は、すべての電源コードをコンセントから抜き、外部ケーブルとデバイスを取り外します。

#### ラック マウント キットの内容

ラック マウント キットの内容は、次のとおりです。

2 組のラック レール - いずれのレールも CC-SG ユニットに取り付ける内部レールと、ラックに取り付ける外部レールの 2 つのセクションから成ります。内部レールと外部レールの間にはスライディング レール ガイドが付いています。スライディング レールガイドは外部レール側に付けたままにします。

- 短い前面ブラケット 1 組
- 長い背面ブラケット 1 組
- 短いネジ、長いネジ
- ワッシャ

#### CC-SG ユニットに内部レールを取り付ける

1. 内部レールをスライドさせ、できるだけ外部レールから離れた位置に移動します。外部レールから内部レールを外すためにロック タブを押して、内部レールを完全に取り外します。両方のラック レールを同じように外してください。
2. いずれの内部レールにも 5 つの穴があります。これは CC-SG ユニットの両側にある 5 つのレール フックの数と同じです。各内部レールの穴とフックの位置を調整して合わせ、各レールをユニットに押し当てるようにして取り付けます。
3. 各レールをユニットの前面に向かって、カチッという音がするまでスライドさせます。
4. 短いネジを使用して内部レールを CC-SG に取り付けます。

### ラック設置場所の決定

CC-SG ラックの設置には、風通しの良い清潔で埃の少ない場所が適しています。熱、電気的ノイズ、電磁界が発生する場所を避け、アース付きコンセントの近くに設置します。

#### ラックに外部レールを取り付ける

外部レールをラックに取り付けます。外部レールは、約 72 センチから 82 センチ (28 - 32 インチ) の奥行きがあるラックに設置できます。

1. 短いネジを使用して短い前面ブラケットを各外部レールに取り付けます。
2. 長い背面ブラケットをそれぞれの外部レールから離れた位置にスライドさせます。短いネジを使用して長い背面ブラケットを外部レールに取り付けます。
3. ラックの奥行きに合うように、レール ユニット全体の長さを調節します。
4. ワッシャと長いネジを使用して、ブラケットが付いた外部レールの端をラックに取り付けます。

#### ラックに CC-SG を取り付ける

CC-SG ユニットとラックの両方にレールを取り付けた後、CC-SG をラックに取り付けます。

1. ラック レールを完全に伸ばし、ラック レールの前面と内部レールの背面を合わせます。
2. CC-SG ユニットのラックに向かって、カチッという音がするまでスライドさせます。CC-SG ユニットのラックに差し込む際に、ロック タブを押してゆるめると入れやすくなる場合があります。

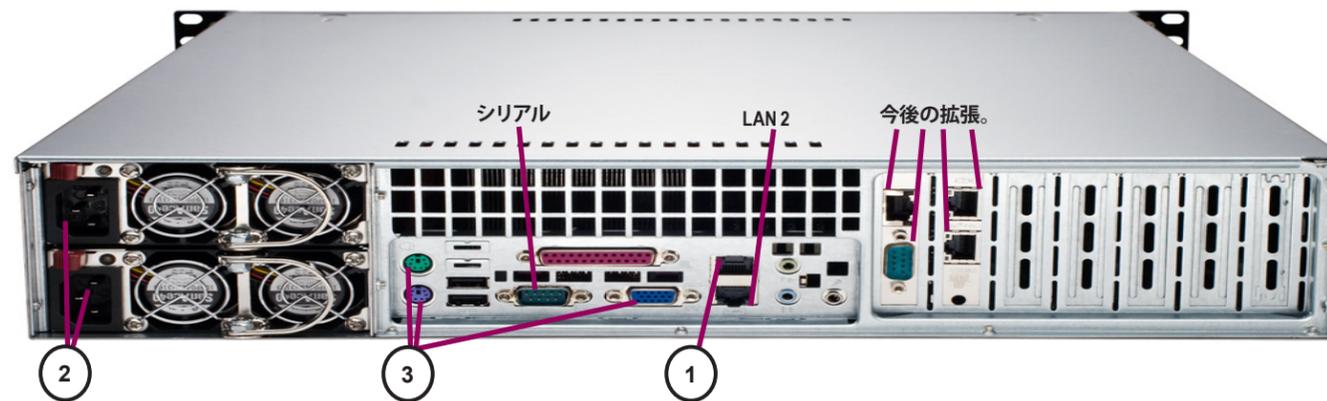
#### ロック タブ情報

- ロック タブは次の用途のために各内部レールに設けられています。
- CC-SG ユニットを取り付けてラックの中に押し込むとき、ユニットを所定位置にロックします。
  - CC-SG ユニットのラックから引き出すとき、ユニットを所定位置にロックします。

## III. ケーブルの接続

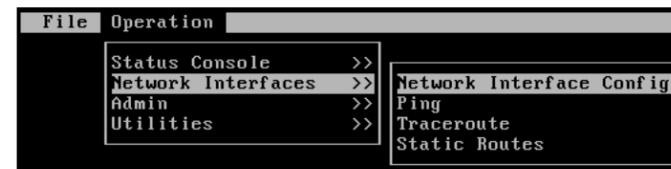
CC-SG ユニットのラックに取り付けると、ケーブルを接続し、CC-SG の IP アドレスを設定できるようになります。下図の番号は、この手順の各番号に対応しています。

1. CAT 5 ネットワーク LAN ケーブルを、CC-SG ユニットの背面パネルにある LAN 1 ポートに接続します。ケーブルのもう一方の端をネットワークに接続します。
2. 付属の AC 電源コードを、CC-SG ユニットの背面パネルにあるパワー ポートに接続します。AC 電源コードのもう一方の端を独立した UPS で保護されているコンセントに接続します。
3. KVM ケーブルを CC-SG ユニットの背面パネルにある適切なポートに接続します。



## IV. ローカル コンソールにログインし、CC-SG IP アドレスを設定する

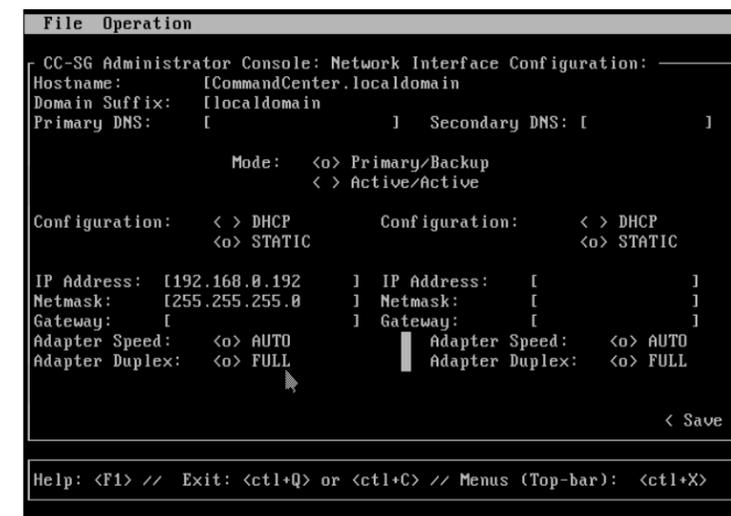
1. CC-SG ユニットの前面にある電源ボタンを押して、CC-SG の電源を入れます。
2. CC-SG ユニットの前面にフロント ベゼルを差し込んで取り付けます。
3. ビデオ出力に **CommandCenter** のログイン プロンプトが表示されたら、「admin/raritan」としてログインし、CTRL+X を押します。ユーザ名とパスワードは大文字と小文字を区別します。続いてローカル コンソールのパスワードの変更を求めるプロンプトが表示されます。
4. [Operation] メニューから、[Network Interfaces]、[Network Interface Config] の順に選択します。



5. Administrator Console が表示されます。
6. [Configuration] フィールドから、[DHCP] または [Static] を選択します。[Static] を選択した場合、静的 IP アドレスを入力します。必要に応じて、DNS サーバ、ネットマスク、ゲートウェイ アドレスを指定します。
7. [Save] を選択します。CC-SG が再起動するまで数分間待ちます。

#### CC-SG のデフォルト設定 :

IP アドレス : 192.168.0.192  
サブネット マスク : 255.255.255.0  
ユーザ名/パスワード : admin/raritan



## V. CC-SG へのログイン

CC-SG が再起動すると、リモート クライアントから CC-SG にログインできるようになります。

1. サポートされているブラウザを起動し、CC-SG の URL「http://<IP アドレス>/admin」を入力します。たとえば、「http://192.168.10.192/admin」のように入力します。
2. セキュリティ警告ウィンドウが表示されたら、[はい] をクリックします。
3. サポートされていない Java Runtime Environment バージョンを使用すると、警告が表示されます。プロンプトの表示に従って、正しいバージョンをダウンロードするか、続行します。
4. ログイン ウィンドウが表示されます。
5. デフォルトのユーザ名 (admin) とパスワード (raritan) を入力し、[ログイン] をクリックします。
6. CC-SG GUI が表示されます。



CC-SG の管理用に他の Raritan デバイスを準備する場合の詳細については、『デジタル ソリューション デプロイメント ガイド』を参照してください。CC-SG の設定の詳細については、『CommandCenter Secure Gateway 管理者ガイド』を参照してください。